



令和7年第1回富谷市議会臨時会

市 長 挨 拶

令和7年1月16日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



本日ここに、令和7年第1回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

本臨時会は、先月、国から示されました令和6年度補正予算に係る重点支援地方交付金を受けまして、本市として必要な追加の生活者支援と経済対策について時期を逸することなく、早期に実施するため、関連経費等を計上した補正予算のご審議をお願いいたしたく、2月の定例会を待たずに招集させていただきました。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

市制施行9年目となります令和7年を迎え、輝かしい1年がスタートいたしました。

1月8日には、市民の皆様や地元経済界、関係機関の方々など、約500名の皆様のご参加をいただき、富谷市新年祝賀会を開催し、市民の皆様のご多幸と本市の恒久発展を祈念いたしました。

また、1月12日には、今年の無火災・無災害を祈願し、富谷市消防出初式を執り行いました。消防団の車両や装備を披露するなど、市民に対する防火・防災意識の啓発と消防団員の士気高揚を図ったところです。

同日には、平成16年度生まれの約700名を対象に、富谷市二十歳を祝う会を開催いたしました。市を挙げて二十歳を祝うとともに、次代を担う富谷の若者へ、大人としての自覚と責任を促し、共に成長を願う機会としたものです。

年始早々のご多忙の中、議長、副議長をはじめ議員の皆様には、新年行事へ多数のご参加を賜りましたことに、改めて感謝を申し上げます。

本年も、市民の皆様の声に耳を傾け、特に声なき声については、より丁寧にお聞きしながら、市民皆様の幸福と富谷市の更なる発展のため、迅速かつ着実に各施策に取り組み、「住みたくなるまち日本一」の実現を目指して邁進してまいりますので、議会の皆様には、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、重点支援地方交付金について申し上げます。

今般、国におきまして、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」として、エネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事

業者を、引き続き支援するため、重点支援地方交付金を追加する補正予算が臨時国会で成立いたしました。

本市では、長引く物価高騰の影響を受けている市民生活の一助と地域経済の活性化を目的として、昨年度に引き続き、3割増商品券の発行を計画しております。購入額1万円に対し、3割増しの1万3千円の割増商品券を発行するもので、購入は世帯ごととし、上限は世帯の人員分の冊数として実施することとしております。

また、低所得世帯支援枠といたしまして、令和6年度住民税非課税世帯を対象に1世帯あたり3万円を給付し、さらに対象世帯のうち18歳以下の子どもがいる世帯には子ども一人あたり2万円を加算して給付するための予算が盛り込まれております。

このことを受けまして、本市におきましても、今般の経済対策の趣旨を踏まえ、出来る限り早期に、対象となる世帯へ給付できるよう準備を進めてまいります。

つきましては、本臨時会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

次に防犯関連施策については、昨今、全国的に発生している住居侵入強盗被害等の状況を踏まえ、防犯対策用品による犯罪の未然防止対策を講じることにより、市内における犯罪の抑止及び市民の防犯意識の高揚を図るとともに、安全で安心なまちづくりを推進するため、市民を対象とした防犯対策用品購入時における助成制度を開始いたします。

つきましては、本臨時会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

次に防災関連施策については、1月22日に、全国発酵のまちづくりネットワーク協議会において関係のある秋田県横手市と、災害時相互応援協定を締結いたします。平成25年に協定を締結した愛知県長久手市に加え、県外自治体との災害時の相互応援協定は2自治体目となりますが、今回の協定締結により、災害時における物資や資機材等の提供、応援職員の派遣など、自治体間の協力体制を一層強化いたします。

議会の皆様には、補正予算につきまして慎重にご審議賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。